

# 第9回 新進演奏家 コンサート

2021 9/24 〈FRI〉

三井住友海上しらかわホール

18:00〈開場〉 18:45〈開演〉

全自由席

## プログラム

シューマン:ピアノ協奏曲……………〈福田 眞弓〉  
イ短調 Op.54

モーツァルト:クラリネット協奏曲………〈山内 実里〉  
イ長調 K. 622

リスト:ピアノ協奏曲 第1番……………〈古川 絢瑛〉  
変ホ長調 S.124/R.455



指揮／小松 長生  
セントラル愛知交響楽団名誉指揮者



ピアノ／  
福田 眞弓



クラリネット／  
山内 実里



ピアノ／  
古川 絢瑛

お問い合わせ／チケット取扱い

山田音楽財団事務局 ☎ 052-533-6708  
セントラル愛知交響楽団 ☎ 052-581-3851

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

主催：



公益財団法人  
山田貞夫音楽財団



小松 長生 *Chosei Komatsu* ～指揮～

福井県生まれ。東京芸大附属音楽高校入学辞退後、東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。バッファロー管エクソン派遣指揮者、ボルティモア響アソシエート、キッチナー・ウォータール交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、武生(たけふ)国際音楽祭音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者等を経て、2011年よりコスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者及び、セントラル愛知交響楽団名誉指揮者。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、プラハ放送響、北ドイツフィル、ポリシヨイ劇場、キエフ国立オペラ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、ヴェネズエラ国立響、『東急ジルベスターコンサート』(マーラー復活最終楽章)、『題名のない音楽会』、『NHK BS プレミアム』、『NHKらららクラシック』、TBS『砂の器』(千住明作曲、羽田健太郎/日本フィル)、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、トヨタ・レクサス用マーク・レビンソン搭載10周年記念CD(新日本フィルハーモニー)、『風と緑の楽都音楽祭』2019-2021などを指揮。五嶋みどり・龍、堤剛、ヒラリー・ハーン、ラン・ラン、山下洋輔、小曾根真、ジェイムス・ゴールウェイ、レナート・ブルゾン、石井竜也、谷村新司、東儀秀樹らジャンルを超えたアーティスト達とのコラボレーションも注目を集めている。2017年9月釜山マル国際音楽祭(韓国)に招かれ、メインコンサート3プログラム(3交響曲、4協奏曲等10曲)を指揮(演奏:セントラル愛知交響楽団)し、絶賛を博した。自作の『新福井県民歌』(三好達治作詞。2014年初演)を、2018年9月福井しあわせ元気国体開会式にて天覧指揮。著書『リーダーシップは『第九』に学べ』(日本経済新聞出版社)音楽藝術学博士。TOEIC 990 (Full score)



福田 真弓 *Mayumi Fukuda* ～ピアノ～

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部を卒業後、渡仏。名古屋昭和ロータリークラブ奨学金受賞、大幸財団丹羽奨励生。2016年シャトゥ国際ピアノコンクール(フランス)にて第3位及びリスト・フランス・クリダ賞受賞。2019年アルベール・ルーセルコンクール(ブルガリア)にて第2位及び聴衆賞受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてディプロマ取得。

これまでにピアノを吉田真知子、都築美佳、Sanae Nakajima Skinner、中沖玲子、西典代、西川秀人、Evgeny Zarafiants、東誠三、Patricia Thomasの各氏に、伴奏をCaroline Esposito氏に師事。パリ国立高等音楽院伴奏科に在籍中。



山内 実里 *Misato Yamauchi* ～クラリネット～

愛知県日進市出身。3歳よりピアノを、12歳よりクラリネットを始める。金城学院大学文学部音楽芸術学科を管楽器首席で卒業。大学主催であるセントラル愛知交響楽団とのコンチェルトに3度出演。在学中、学長賞を2度、卒業時学部長賞を受賞。これまでに岡林和歌、大浦綾子、瀬戸和夫各師に師事。第9回岐阜国際音楽コンクール専門部門第1位、文化人特別賞受賞。第28回日本クラシック音楽コンクールクラリネット部門大学生の部5位(1、2位なし)。第21回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第3位。第42回読売中部新人演奏会出演。第25回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルにおいてジェロームヴォワザンのクラスを受講。平成29年度山田貞夫音楽財団奨学生。



古川 絢瑛 *Ayae Furukawa* ～ピアノ～

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコースを卒業。同大学院音楽研究科博士前期課程を修了。第2回刈谷国際音楽コンクール一般の部本選優秀賞及び審査員特別賞。第6回なごや青少年ピアノコンクール大学・大学院の部第1位並びに総合1位、愛知県知事賞。ウィーン国立音楽大学夏季マスタークラスを受講し、ディプロマを取得。ディビラーコンクール第3位。平成29年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。これまでに木村文子、小林絵里子、西典代、加藤美緒子、内本久美の各氏に師事。現在、ソロや器楽や合唱伴奏等の演奏活動を行いながら、後進の指導にも力を注いでいる。

## セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期1年)として迎えることとなり、2021年度は阿部未来が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。